

## 資料 2

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議

(第3回)

2023年3月14日(火) 10:00-11:30

# 学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ の進捗報告について

# これまでいただいた意見

## (学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議(第2回)での主な意見など)

- 「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議(第2回)」での主な意見
  - ・ 学校施設整備後であっても、空間の使い方に関する**児童生徒からの提案**を受け入れられる**可変性のある**学校であることが重要ではないか。
  - ・ **既成観念から抜け出して**自由に考えられるよう、学び心地・教え心地・居心地がよいという**学習空間の質を提示**してはどうか。
  - ・ **教職員のウェルビーイング**を上げて欲しい。教職員にとって、**空間の居心地の良さ**が重要ではないか。
  - ・ 学校施設が、**地域のコミュニティの拠点**となる例を上げてはどうか。
  - ・ 学校には、**カウンセラーや民間企業の方**がいる場合もあり、そのような人にとっても**働きやすい環境**とすることが重要ではないか。
  - ・ 学校施設整備の過程での教職員の参画など、**プロセスやコミュニケーション方法**についても事例を取り上げることが重要ではないか。
  - ・ 各事例の**タイトルのつけ方、言葉の使い方**を工夫して欲しい。
- 「学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ」での主な意見(各委員との事前打合せでの意見を含む)(全体構成に関すること)
  - ・ **新しい時代の学びを実現する学校施設の姿(ビジョン)**とつながりを持たせて整理してはどうか。
  - ・ **パターンランゲージ(辞書)**を示しつつ、**実際にやってみた事例(辞書の取扱説明書)**を示してはどうか。
  - ・ 固定概念に囚われない事例を示しつつ、**学校設置者にとって**、自分たちの学校づくりの条件に照らして、**考えるヒントが得られると良い**。
  - ・ **学校設置者や設計者が周囲を説得する際の材料**として活用できるような先行事例を示せると良い。
  - ・ 「こうつくる」のみならず、「こう使って」「こうなる」を**合わせて示して**はどうか。
- (掲載する事例に関すること)
  - ・ 廊下や中庭の活用など、**学校全体を学びの場**とした事例を取り上げてはどうか
  - ・ 1人1台端末により、学校現場では、**オープンスペースの活用が活発**になってきている。そのような事例を取り上げてはどうか。
  - ・ わくわくする時間・空間と、**ほっとする時間・空間**をうまくデザインした事例を取り上げてはどうか。
  - ・ **従来のパソコン教室を**、大型3Dプリンタの設置や動画編集が可能な**FABラボとして機能向上**した事例もある。
  - ・ 共創の視点として、**学校施設整備がまちづくりにつながる**や、**地域が学校によってどう変わったか**という事例を取り上げてはどうか。
  - ・ 学校施設の**放課後活用、部活動の地域移行**の視点も検討してはどうか。
  - ・ 安全・安心の観点から、災害時に**学校施設が地域の防災拠点**となる事例を取り上げてはどうか。
  - ・ **エコスクール**の事例を取り上げてはどうか(学校施設を環境教育として生かす)。
  - ・ **木の活用**とウェルビーイングが結びつくのではないか。
  - ・ 「**教職員が、快適に働くために**」という視点があると良い。
  - ・ 先生が異動した後も効果的な**空間使い方を伝えられるようなマニュアルやマニュアルの作り方の事例**も示してはどうか。
  - ・ 海外の事例も入れることを検討できないか。
- (掲載する情報に関すること)
  - ・ 写真だけでなく、QRコードの掲載により、**動画**が見られるようにしてはどうか。

# ウェルビーイングに向けた学校施設づくりのアイデア集（仮） の作成に向けた論点

## 1. 作成に向けた背景

- ウェルビーイングの定義
- 教育に関係する近年の議論

## 2. ウェルビーイングに向けた学校施設づくりのアイデア例

### どのような視点を取り上げるか

- 新しい時代の学びを実現する学校施設（柔軟で創造的な学習空間、ICTの活用、共生社会の実現）
- 教職員のウェルビーイングを確保する学校施設（執務空間、休憩場所）
- 地域の中核拠点となる学校施設（複合化、学校施設の民間活用、地域の防災拠点）
- 安全・安心な環境を実現する学校施設（健やかな学習・生活空間の実現、脱炭素、木材利用）

### どのように整理するか

- 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）」の視点から
- 人の視点から（児童生徒、教職員、保護者、地域住民、NPO・企業）
- 空間の用途から（学習の場、仕事の場、地域コミュニティの場）
- ウェルビーイングの要素から  
（幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、サポートを受けられる環境、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現、心身の健康、安全・安心な環境）

### どのような情報を掲載するか

- 効果
- ・・・

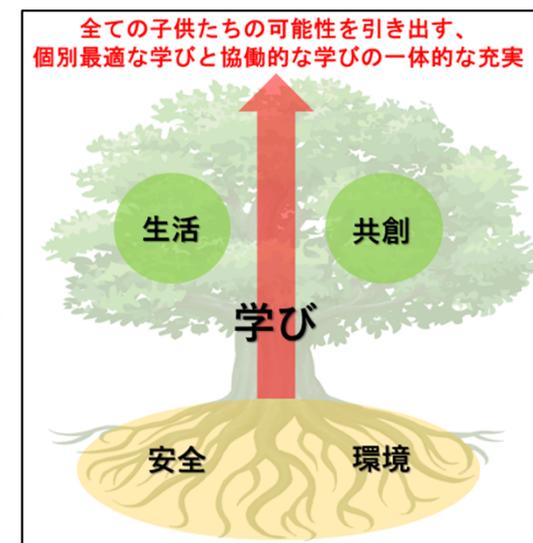
## 3. 共創（学校関係者等の参画）による学校施設づくりの例

### どのような視点を取り上げるか

- 基本計画づくりに、児童生徒を含む幅広い学校関係者が参加
- 整備した後も、設計者が関わり、学校の使い方について児童生徒とともに考えている

### どのように整理するか

### どのような情報を掲載するか



5つの姿の方向性

# 学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループの今後のスケジュール

